

米子市の環境に関する市民アンケート調査結果(事業所編)

第2次米子市環境基本計画の策定に当たり、環境に対する意識や事業所における再エネ・省エネの取組状況等の変化を把握することを目的に、令和元年度に実施したアンケートと同様の内容(一部内容を追加または修正)でアンケートを実施しました。

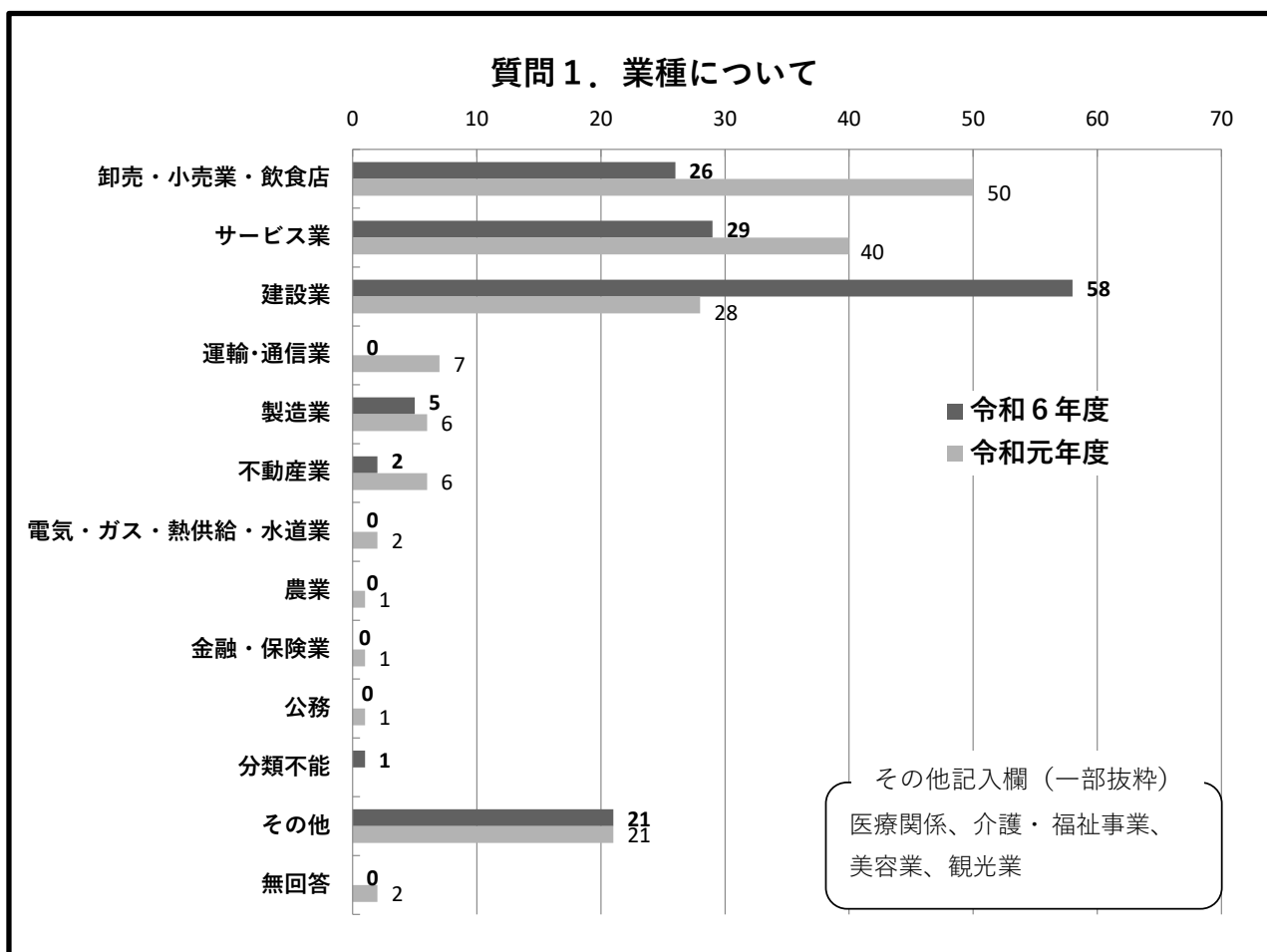
●調査概要●

調査期間	令和6年12月1日～12月20日
調査対象	米子市内所在の企業から無作為に抽出
配布・回収方法	郵送による配布・回収
配布数	500社
回収数(回収率)	142社(28.4%)

【事業所の概要について】

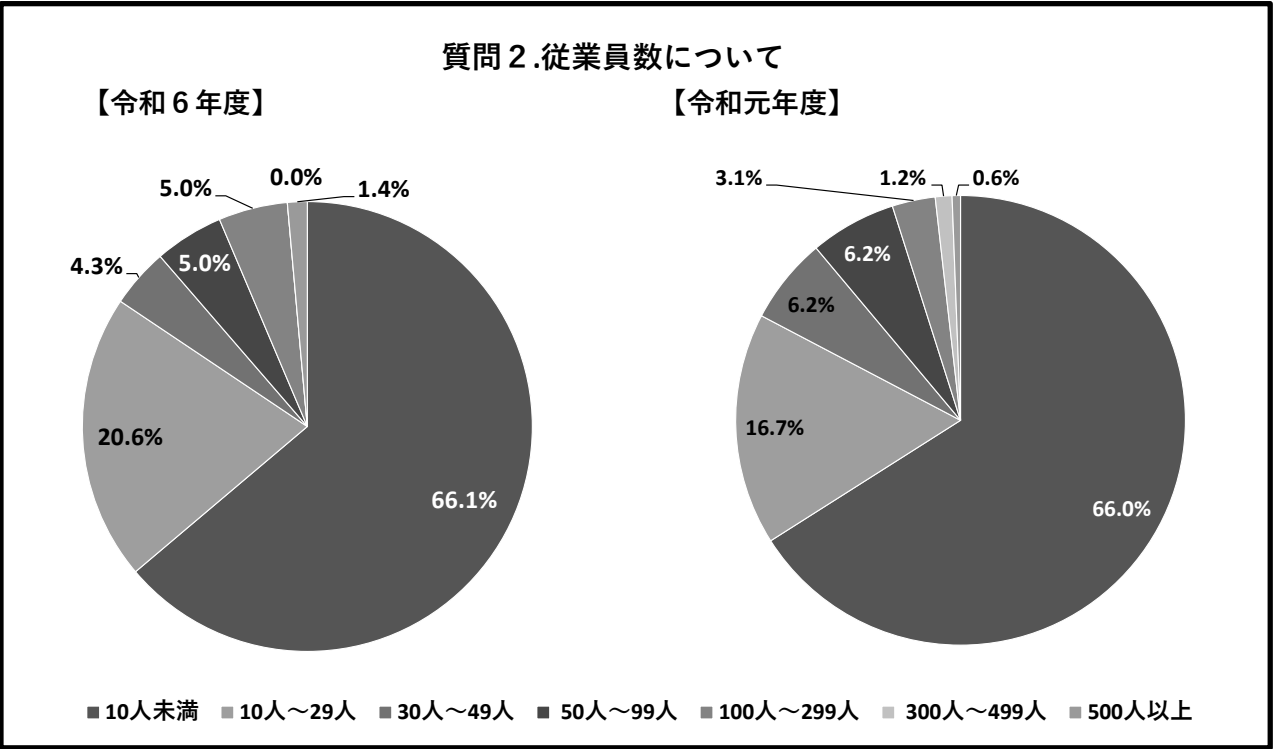
質問1. 業種について(有効回答数:142社)

令和元年度と同様に、「卸売・小売業・飲食店」、「サービス業」、「建設業」からの回答が上位を占めました。



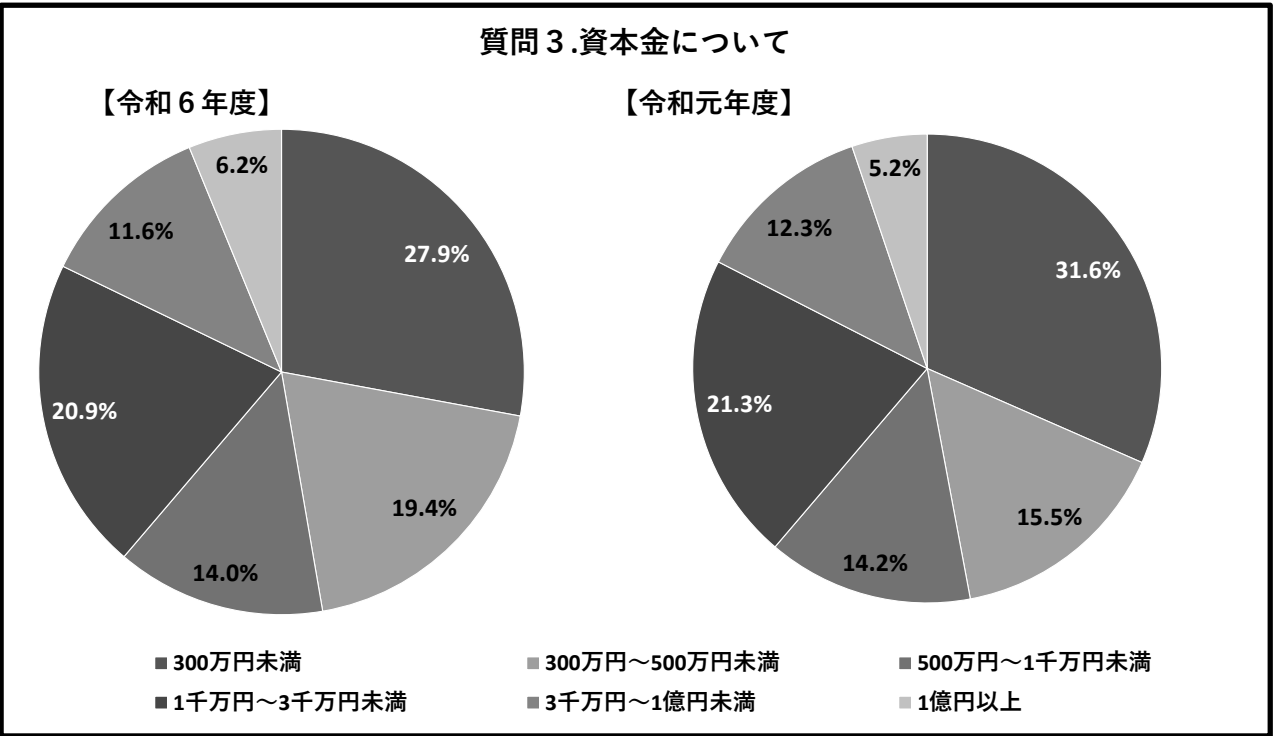
質問2. 従業員数について(有効回答数:141社)

多少数値の増減はあるものの、令和元年度と同様の傾向であり、「10人未満」の割合が最も多い結果となりました。



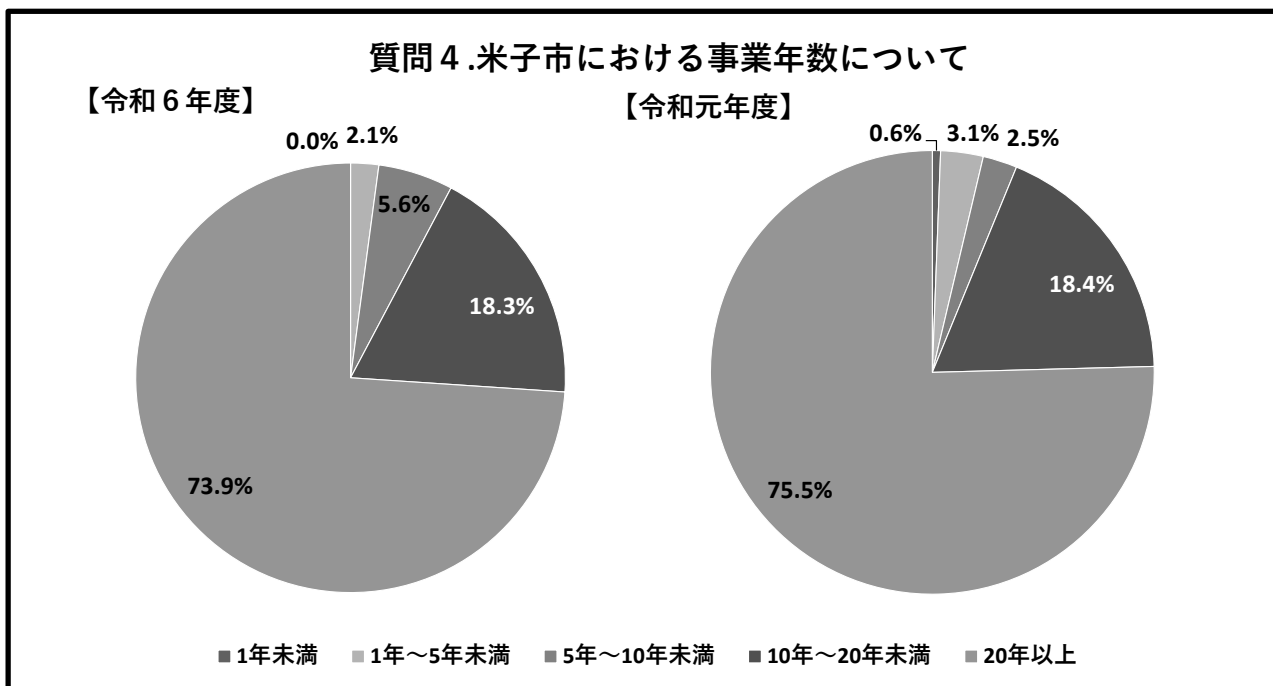
質問3. 資本金について(有効回答数:129社)

多少数値の増減はあるものの、令和元年度と同様の傾向でした。



質問4. 米子市における事業年数について(有効回答数:142社)

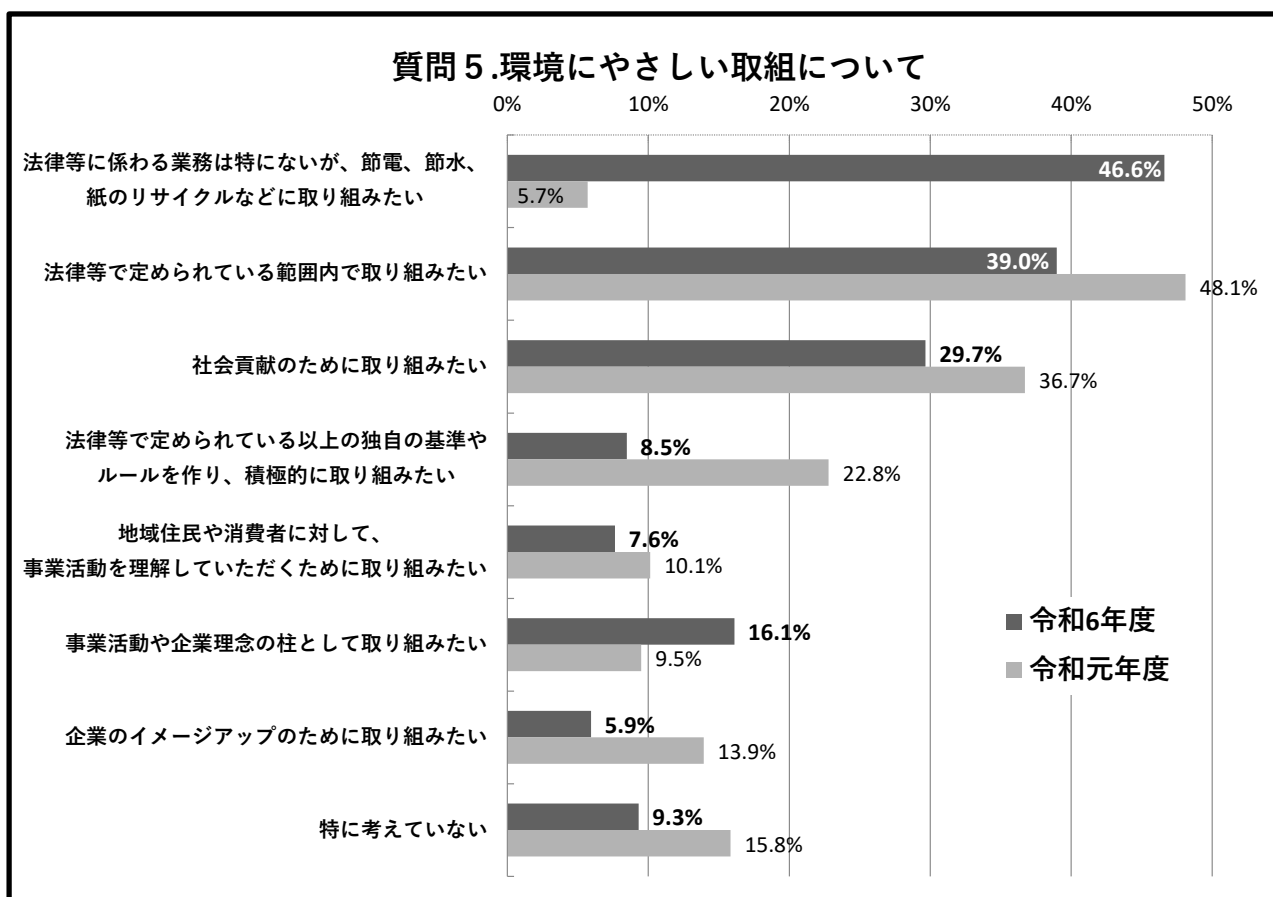
令和元年度と比べ、「5年～10年未満」の企業が3.1ポイント増加しました。



【環境に対する取組について】

質問5. 環境にやさしい取組について(複数回答あり)(有効回答数:118社)

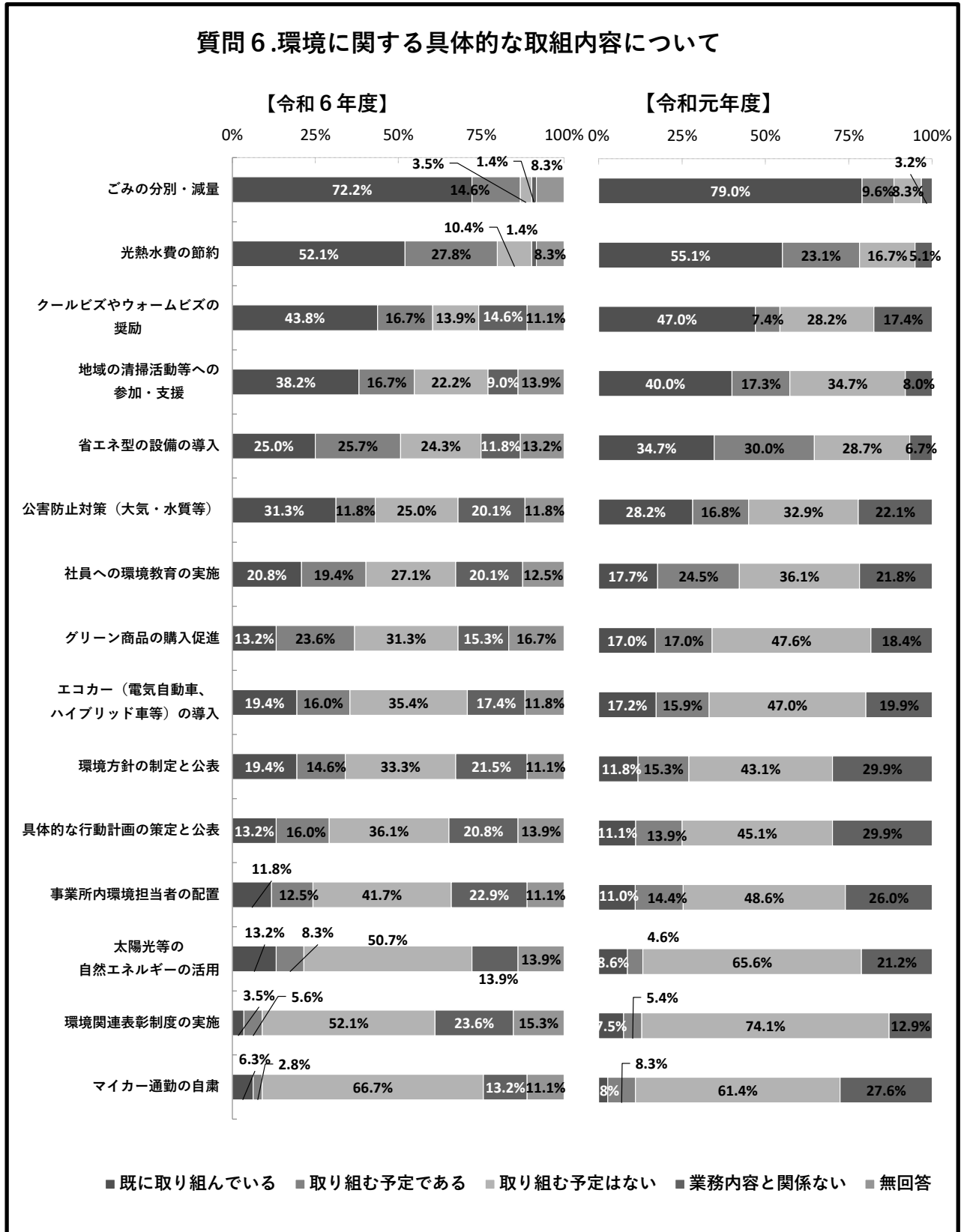
令和元年度と比べ、法的義務や社会貢献等の回答が減少し、節電、節水、リサイクルなど自主的かつ身近な取組を重視する回答が増加していることがわかりました。企業理念として環境保護に取り組んでいく動きにシフトしていることがうかがえます。



【環境にやさしい具体的な取組について】

質問6. 環境に関する具体的な取組内容について(有効回答数はいずれも144社)

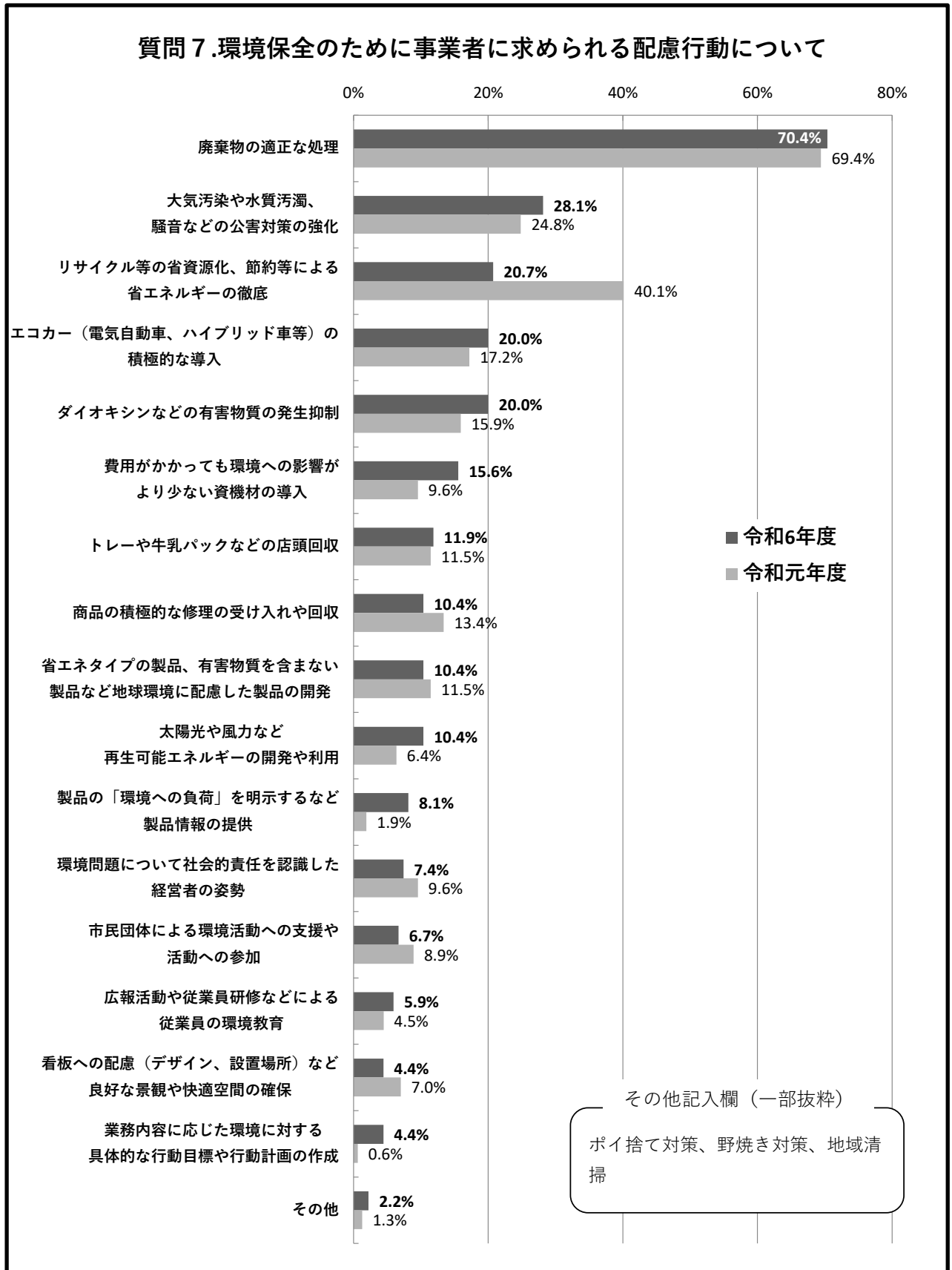
多少数値の増減はあるものの、令和元年度と同様の傾向でした。堅実なところから取り組む姿勢が見受けられます。



【環境を改善するための今後の活動について】

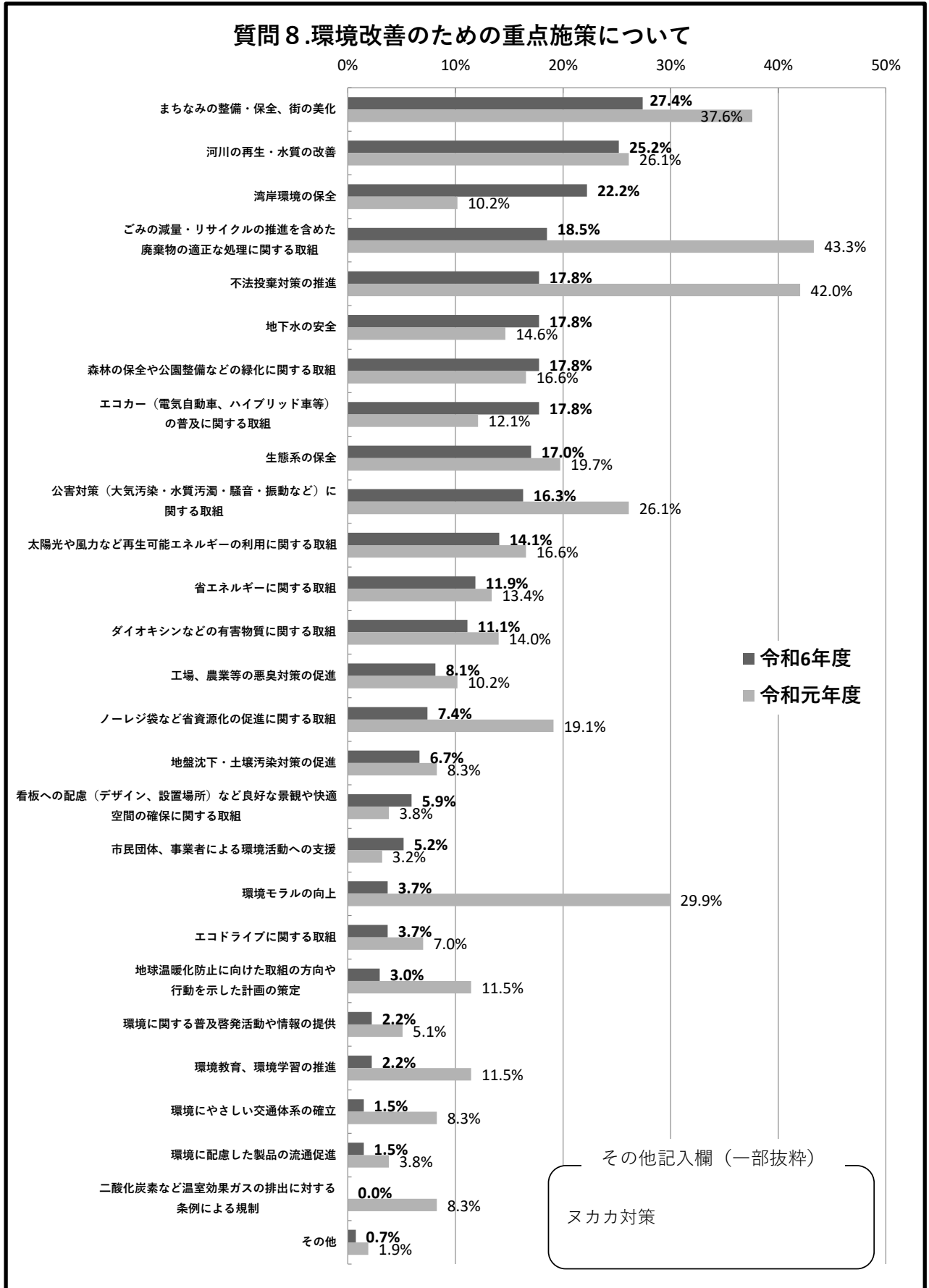
質問7. 環境保全のために事業者求められる配慮行動について(複数回答あり)(有効回答数:135社)

順位の入れ替わりはあるものの、上位5項目は変わりありません。令和元年度と比べ、特に廃棄物の処理や公害対策、エコカーの導入、環境に優しい資機材の導入などへの関心が高まっています。一方で、省エネルギーやリサイクルの徹底には減少が見られました。



質問8. 環境改善のための重点施策について(複数回答あり)(有効回答数:135社)

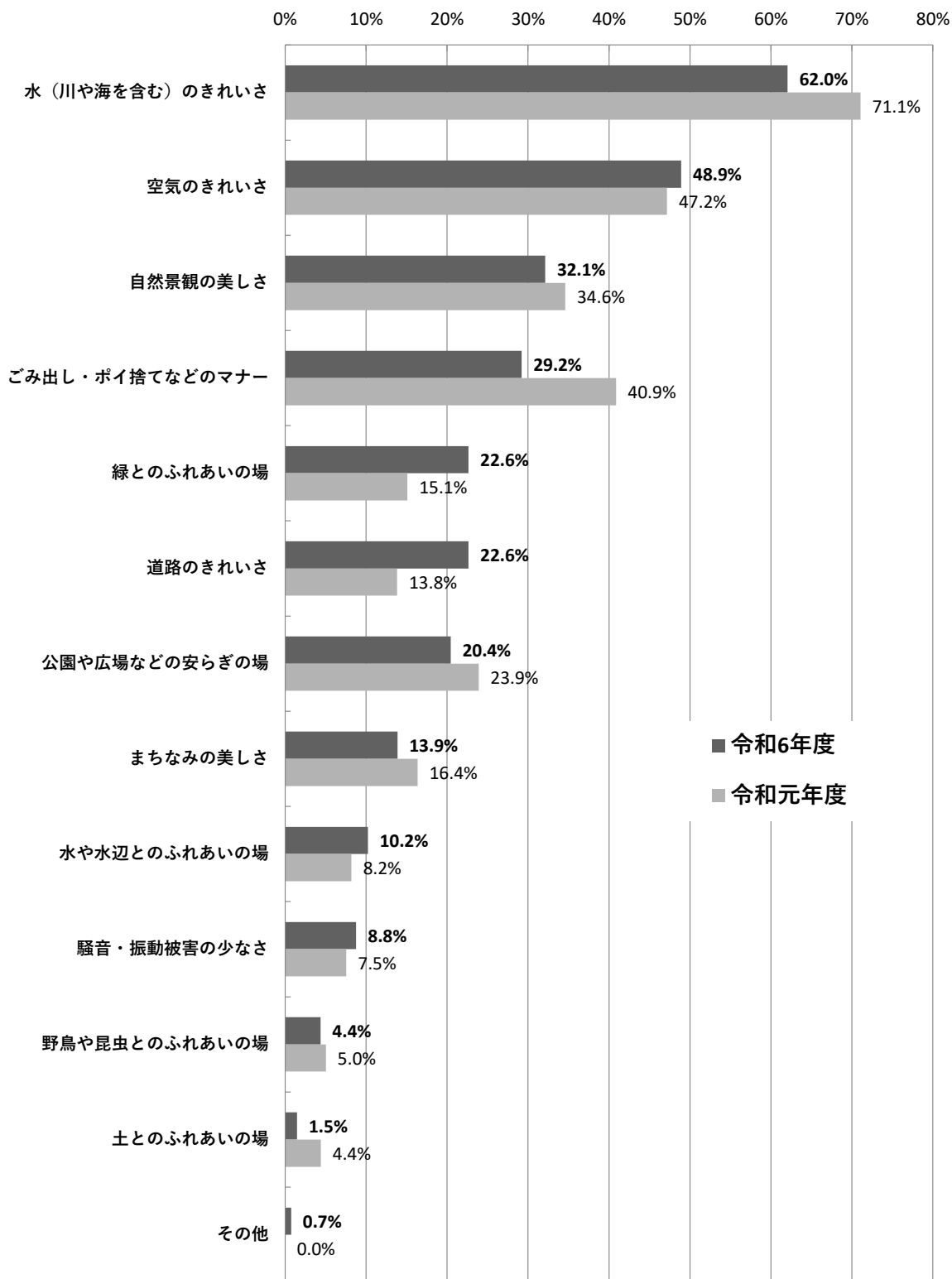
令和元年度と比べて「まちなみの整備・保全、街の美化」「廃棄物の適正な処理に関する取組」「不法投棄対策の推進」等に対する関心が大きく減少し、「湾岸環境の保全」「地下水の安全」「エコカーの普及に関する取組」等が増加しています。身近に取り組めるものが定着したことで重点的に取り組む施策が移行している傾向にあることがうかがえます。



質問9. 将来の世に残したい環境について(複数回答あり)(有効回答数:137社)

水や空気、自然景観については、令和元年度とかわらず高評価を得ています。その他前回と比較して順位の変動や評価の増減はありますが、全体の傾向として前回と同様の傾向と考えられます。

質問9.将来の世に残したい環境について

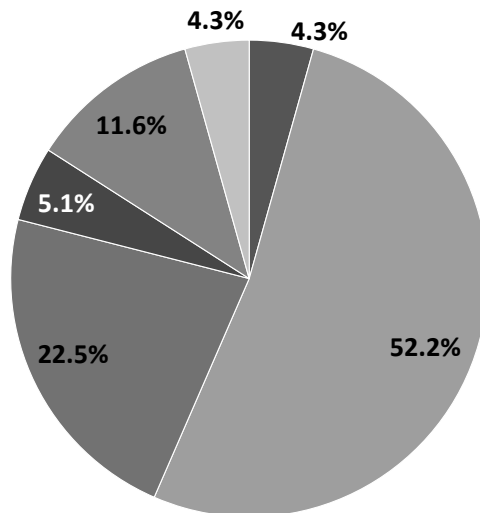


質問10. 地球温暖化防止のための費用負担について(有効回答数:138社)

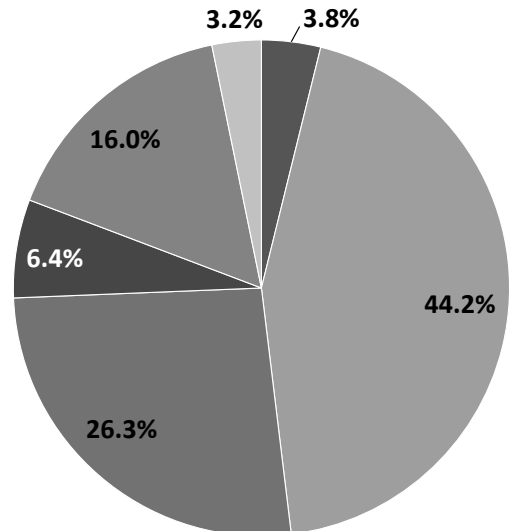
令和元年度と比べ、事業所の費用負担を避ける傾向が見受けられました。環境問題と経営課題を並行して解決することの難しさが見受けられます。

質問 10 .地球温暖化防止のための費用負担について

【令和6年度】



【令和元年度】



- 費用負担が増えるのであるならば、環境を改善する取組は行わなくてもよい
- 環境を改善する取組は必要だと思うが、事業所の費用負担の増加はこれ以上避けてもらいたい
- 環境を改善する取組のためには、費用負担の増加はやむをえない
- 事業活動と環境を改善する取組とは関係がないので、費用負担はしたくない
- わからない
- その他

その他記入欄（一部抜粋）

クラウドファンディングの利用、地域住民が自発的にできることを取り組むことの重要性、行政の負担や、事業者内でのインセンティブを求める声、など